

令和7年度実践報告 「外海の良さを伝えたい、外海に元気を届けたい」 田舎の小さな公民館

1 はじめに

外海地区は、神浦、池島、黒崎、出津の4地区からなり、いずれの地区も少子高齢化や過疎化などにより人口減少が著しく、街並みは寂しくなっている。さらに、コロナ禍の影響から、公民館は中止となった講座が多く受講者は激減した。地域行事も規模を縮小したり、中止となったりしたものが多い。

新型コロナが第5類に移行した令和5年度は、公民館の講座は通常開催となったが受講者は少なく、また、中止した地域行事は再開できないものもあり、コロナ禍前の状況には戻っていない。

そこで私は、外海地区を少しでも賑やかにしたいと思い、外海地区に一人でも多くの方が足を運んだり、地域の方が楽しんだりできるよう、公民館講座の運営や地域行事への参画を微力ながらもやっている。

※ 人口	令和2年12月31日:3,323名(65以上:1,730名「52.1%」、20未満:215名「7.3%」)
	令和7年12月31日:2,860名(65以上:1,653名「57.8%」、20未満:158名「5.5%」)
※ 受講者	令和元年度:868名、令和2年度:388名、令和5年度:318名
	令和6年度:664名、令和7年度:677名(3月10日現在)

2 公民館講座の運営

1 開設講座の位置づけ

(1) 外海の良さを伝えたい講座

外海の潜伏キリシタン関連遺産をはじめ、歴史や文化、自然、食などの恵まれた資産を伝える講座として、既存の講座を見直すとともに新しい講座を開設した。(⑦と⑧は令和7年度秋の講座より)

講座名	内容
① 外海の潜伏キリシタン	世界遺産の大野集落・出津集落や黒崎地区の教会や関連遺産を巡る
② 池島炭鉱坑内体験	国内で唯一の炭鉱体験ができる炭鉱での坑内探検や機器の操作体験
③ 神浦のまち歩き	かつてキリスト教が栄えた神浦の街並みや神社仏閣、城跡などを巡る
④ 大中尾棚田散策 (R7 未開設)	日本の棚田百選に選ばれた美しい大中尾棚田の散策や水源の見学
⑤ 県民の森自然観察	季節の草花やきれいな溪流など、いやしの森を観察
⑥ 外海の食材でランチタイム	ながさき味わいの匠による「伝統柑橘ようこう」入りの軽食づくり
⑦ 外海の郷土料理でお正月	ながさき味わいの匠による「からべ煮しめ」のおせちづくり
⑧ 遠藤周作の文学と歩み	文学館設立の経緯や遠藤周作の生涯を振り返り、遠藤文学に親しむ

(2) 外海に元気を届けたい講座

誰もが気軽に健康づくりや運動に取り組めるよう、楽しく簡単にできる健康講座を新設した。小学生対象の講座では、地域の方々に活動成果を披露する場も設定した。(令和6年度秋の講座より)

講座名	内容
⑨ チェアピクス	座って行うエアロピクス、音楽に合わせて楽しくエクササイズ
⑩ ダンスワークショップ	ヒップホップに挑戦し、楽しみ合い、笑い合おう(小学生対象)





④ 大中尾棚田散策	R5 秋の満足度調査では全員が「満足」と答えているが、感想は残っていなかった。R6 秋はアンケートをとることができなかった。
⑤ 県民の森自然観察	天候にも恵まれとても良かった。説明も詳しく、おもしろかった。(R7 秋) 色々なお話を聞きながら歩いてすごく満足。心も洗われた気がした。(R7 秋)
⑥ 外海の食材でランチタイム	ゆうこうの風味がとてもよかった。楽しくパン作りができた。(R7 春) 幸せなひと時だった。講師のお話もとても興味深く聞かせていただいた。(R7 秋)
⑦ 外海の郷土料理でお正月	郷土料理を頂くことができてよかった。煮干だけの出汁にびっくりした。(R7 秋) 匠の技が光る「からべ煮しめ」を味わえた。長年の味付けはとても美味。(R7 秋)
⑧ 遠藤周作の文学と歩み	景色が素敵。「沈黙の碑」を初めて知った。今後も文学にも触れたい。(R7 秋) 遠藤周作やこの文学館が身近に感じられるようになりよかった。(R7 秋)
⑨ チェアピクス	リズムカルな音楽と体操で毎回楽しい。回数も増やしてほしい。(R7 秋) 身体を動かして、講師の先生のお話に笑って楽しい時間を過ごせている。(R7 秋)
⑩ ダンスワークショップ	3か月前から練習し、いろいろ覚えて楽しめた。本番も頑張りたい。(R7 秋) 毎回、子どもたちが楽しそうに踊っているのを見るのが楽しい。(R7 秋)
※ 公民館に対して	対応がとても親切なので嬉しく思う。(R7 春) いつも講座のお知らせを送っていただいてありがたい。(R7 春) 市内の講座の中でもっとも満足できる内容であると思う。(R7 秋) 身体を動かす講座を増やしてほしい。(R7 秋)

### ③ 地域行事（外海ふれあい広場）への参画

外海ふれあい広場は、各世代間の交流と親睦を図り、明るい地域社会づくりの一助とするとともに、これからの社会を担う青少年の地域一体となった健全育成を図ることをねらいとし、平成25年度から開催し今年度で10回目（コロナ禍により中断3回）となった。

#### 1 公民館の役割

主催は社会福祉協議会や民生児童委員協議会であるが、役員減少や高齢化により公民館が事務局として、実行委員会、実施要綱、出演者集約、地区への案内、会場設営計画、当日の運営などの多くを担っている。

#### 2 再開と見直し

##### (1) 再開

令和5年度に3年ぶりに開催した「外海ふれあい広場」は、神浦小学校の創立150周年記念式典の後、神浦小学校の学習発表会と合同で行った。長崎市中心部や琴海地区など、外海地区以外からも多くの出演を依頼したこともありとても賑わった。参加者は約250名となり大規模であった。

##### (2) 見直し

令和6年度からは公民館主体の開催となるため、実行委員の高齢化等を考慮し、継続可能な内容で行うことを確認した。発表団体を「公民館の自主学習グループや公民館講座」、「外海地区内で活動している文化・芸能等の団体や個人」、「外海地区内の3小学校（令和7年度に2中学校を追加）」とした。

#### 3 外海ふれあい広場の内容（令和7年度分）

##### (1) 舞台発表

- 神浦小学校（学習発表）      ○外海中学校（学校行事：ビデオ発表）
- ハンドベル講座&リソナーテ（ハンドベル）      ○夕陽が丘早乙女会（民謡舞踊）
- 合唱クラブ（合唱）      ○ポップユニット響（歌謡）      ○小学生ダンス講座（ヒップホップダンス）

##### (2) 展示発表

- 出津パッチワークの会（バッグ・タペストリー他）      ○繭ちゃん（まゆ玉飾り、押し絵）
- まめなか（手揚げ他）      ○神浦小学校・外海黒崎小学校・池島小中学校・外海中学校（絵画、書）



(3) 参観者全員による外海音頭

外海音頭は、外海ふるさと祭りや町民運動会、小中学校の運動会などでよく踊られていた。しかし、コロナ禍の影響で踊る機会が減り、今では神浦小学校での運動会（毎年）と外海中学校の運動会（今年度から）のみとなった。そこで、以前のようにみんなで楽しめる場にしたいと思い計画した。



(4) 実施後の振り返り

- ① 参加者は、令和6年度（約130人）、令和7年度（約150人）と予想を大きく超えた。公民館だよりの全世帯配付による周知の効果とともに、地域住民が集い・楽しめる場としての期待感を感じた。
- ② 多様な内容で全体的によかった。小学生や中学生の学習発表、ダンス講座の発表は大好評であった。
- ③ 外海音頭を待ちかねていたかのように全員が楽しんで踊っていた。アンコールもかかり驚いた。
- ④ 発表団体を外海地区内としたため、出演依頼や連絡・調整等が容易であった。

## 4 おわりに

### 1 公民館講座の運営について

「開設講座の位置付け」により、ねらいを明確に持って講座運営ができた。このことは受講者の評価（満足度の高さ）や感想などからもうかがうことができた。

「外海の良さを伝える講座」は、感想からも外海の良さを伝えることができたと感じている。池島炭鉱坑内体験は大好評であるが、来年度末での終了となる。「外海に元気を届けたい講座」では、初の取組のチェアピクスは年齢を問わず好評で、楽しく元気に取り組んでいた。受講者もロコミが増えていった。ダンスワークショップは子どもたちが生き生きと取り組み、発表会では地域に元気を届けることができた。

「講座の周知と申込方法」を見直したことで、講座の申込者数や受講者数の大幅な増加につながった。また、公民館だよりの郵送（手渡し）によりリピーターも多くなった。

### 2 地域行事への参画について

外海地区内の団体等による発表の場としたため、企画は無理なくできた。しかし、公民館職員が1人のため、会場設営事前準備や発表者との打合せ・リハーサル、当日の進行などにおいて、他の実行委員との連携がうまく持てなかった。役割分担が大きな課題である。

参観者が多かったことは、活動団体の意欲づけとなり、小学生や中学生、ダンス講座の発表では、地域住民に元気を届けることができた。また、外海音頭は大好評であり参加者全員が楽しめる場となった。この2年間の取組により、外海ふれあい広場への期待が高まっていると感じている。

### 3 今後に向けて

次年度以降も公民館や地域を少しでも賑やかにできるよう、今年度の取組の継続と新たな手立てを講じていきたい。今後も「外海の良さを伝えたい、外海に元気を届けたい」ということを第一に掲げ、田舎の小さな公民館は活動していきたいと思っている。